

『ド定番な動機』

作 阿野 一人

登場人物

歯車 りさ子 (28) 演技派警部。キャリア組。
小敷 ころこ (30) 被疑者。ホストを殴った。「こやぶ」じゃないよ「こしき」だよ。
瀬田 雅美 (21) 新米警察官。
星 信展 (25) 刑事。ノンキャリア。

照明パターン

- A 一か所サス残し
B 通常明かり
C 一か所サス (Aと同じ場所) 周りは表情が軽く見える程度の明るさ
D 「色」or「照らす範囲」がBと違う明かり

第一場

小敷が証言をしている (照明A)

歯車 (声) 起訴状の内容に、間違いはないですか？

小敷 間違いありません

歯車 (声) なぜ、殴ってしまったのですか？

小敷 ホストクラブの裏口で、太陽くんが「身体売ってでも金つくれよ」と言いました。私は涙がこぼれそうになって上を向くと、ビルの隙間に満月が浮かんでいました。それを見た瞬間、声が聞こえたんです。「目覚めよ、お前はジャングルの王だ」すると突然、遠いジャングルの記憶がよみがえり、(言いよどむ)

瀬田 (声) 私に (小声で)

小敷 私に……

瀬田 (声) 流れる

小敷 私に流れる野生の血が (言いよどむ)

歯車 (声) 一回止めよう! (照明B)

取調室。瀬田が記録係をしている。歯車が小敷の取調べをしている。

歯車 全然セリフ入っていないな

小敷 (舌打ち)

齒車 それから君（瀬田に向かって）

瀬田 はい

齒車 プロンプ早い！ 役者を甘やかすな！

小敷 役者じゃねえし！

齒車 バカ野郎！ 法廷に立つ以上、被告人である前に役者なんだよ！

小敷 意味わかんねえ……

齒車 客の女がホストを殴った。つままない事件だよ？

小敷 だからなんだよ

齒車 君ね、悔しくないのか？

小敷 なにが

齒車 こんなつままない事件の犯人にされて、悔しくないのか！

小敷 やっちまったもんはしょうがないだろ！

齒車 しょうがなくなる！ もっとやり方があっただろう！ なんで現場から逃げなかった！

小敷 なんてって。

齒車 あれ（瀬田に）？ 自首だっけ？

瀬田 あ、通報です。 同行していた女性からの。

齒車 ありきたりだなあ。で、黙秘もなし？ 否認もなし？

瀬田 はい。スムーズな取り調べでした

齒車 君（小敷）ね！ 捕まりたくないとか、ホントはやってないとか、そういうのないのか！

小敷 ねえよ！ 悪いかよ！

齒車 それじゃ物語にならないんだよ！ 警察と犯人が対立しないと！

小敷 知るかよ……

齒車 だいたいこの調書からしてセンスがない！ なんだこの犯行動機。今時「恋愛感情のもつれ」
って

星が現れる

星 すいませんねセンスがなくて

齒車 ん？ 君が書いたのか？

星 警部殿、いい加減にしてもらえませんかね。他の事件だっていっぱいあるんですから。

齒車 わるいね、どうしても引っかかるんだよこの事件

星 ありきたりで、つままない事件ですよ。警部殿に相応しい、面白い事件に取り組まれてはい
かがですか？

齒車 面白くないってことが問題なんだよ！

星 はあ？

瀬田 あの、どういう意味でしょうか？

齒車 社会から犯罪をなくす。被害者も加害者もない世の中にする。そのために私は警察に入っ
たんだ。でもな、どんなに努力しても、なくならないんだよ犯罪は！ そもそも、犯人を逮

捕すれば解決なのか？ 傷ついた被害者がいなくなるわけじゃない。加害者の人生だって続く。彼らに、我々は何ができるんだ？

瀬田 それは、その……

歯車 だったら、せめて、エンターテイメント性がある事件にしたいじゃないか！

瀬田 ……はあ

歯車 人は、物語があって始めて物事を理解できるんだ。「こんなことがありました」だけじゃあそれはただの事象だ。被害者が痛みを乗り越え、加害者が罪を自覚するためには、事件を語られ得る物語にしないとイケないんだよ。それこそが、我々警察の本当の仕事なんだ。

瀬田、言ってる意味はよく分からないけどなんか感動する

星 ……それ、本気で言ってます？

歯車 本気なわけないだろう

瀬田 えっ？

歯車 でも、彼女（瀬田）の心は動いた。いいか、被告人ってのは今みたいに、傍聴してるお客様の心を動かさないとイケないんだ。わかっただろう？

小敷 ……（めんどくさい）

瀬田 あの、すいません（挙手）

歯車 ハイその君

瀬田 面白ってことが大事なのは、わかりました。わかんないけど、でもひとつだけ、気になる点が

歯車 なんだね

瀬田 この、ジャングルの王っていう設定は、面白いんでしょうか？

歯車 ……

星 ……

小敷 面白くないね

歯車 あっ！ お前！ いや、面白ってそりゃ……（瀬田に）なんてこと言うんだ君は！

瀬田 ああ、すいません！

歯車 面白だろう！ 誰も予想しないだろうという動機は！

瀬田 ごめんなさい！ 面白いです、あの、斬新で

小敷 いやつまんないよコレどう考えても

歯車 あっ！

小敷 正直、やるほうの身にもなって欲しいというか

歯車 あっ、お前、役者がホンのせいにしたら（ダメなんだぞ）

星 （瀬田に）どれ。見せてみ？

瀬田、スクリプトを星に渡そうとする。歯車、それを奪い破り捨てる

星 あっ！

歯車 ……まあ、あれだ。ちょっと攻めすぎたというか、被告人の表現力が試されるホンではあつたよな。

小敷 ……

瀬田 ……

歯車 ……じゃあ、ちょっと別のやつ印刷してくるから

歯車、出ていく

星 (瀬田に) お前何やってんだよ！

瀬田 ごめんなさい！

星 終わった事件で遊んでるほど暇なのかお前は

瀬田 いえ、あの

星 それともあれか？ 俺らのサポートよりキャリア様の遊び相手の方が大事なのか？

瀬田 だってだってなんか警部に、この調書は人間が描けていないとか言われて

星 はあ？

瀬田 いや、全然意味はわかんないんですけど

星 こいつらの人間性なんてどうでもいいんだよ！

瀬田 はい！ すいません！

星 こんな事件は掃いて捨てるほどあるんだから。まともに相手してたらキリがないぞ

小敷 そうだぞー。考えろよ新人(からかって)

星 お前が言うなよ

小敷 お兄さんみたいに、さらっと流してもらえるのマジ助かる

星 あのな、お前、人ひとり殺しかけてんだぞわかってんのか

小敷 わかってます。反省してます。

星 (舌打ち)

小敷 ねねね、ほんとに裁判ってこんな感じなの？

星 あ？

小敷 設定とかセリフ覚えて、みたいな

星 そんなわけねえだろ。普通に聞かれたこと答えりゃいいんだよ

小敷 そうだよねえ。おかしいよねこれ

第二場

歯車、帰ってくる

歯車 はいはいお待たせいたしました。「悪霊編」と「宇宙人編」どっちがいい？

星 ……(去ろうとするが小敷に止められる)

歯車 (小敷に) おい、選んでいいぞ。「不条理編」もあるぞ
小敷 普通にやりたいんだけど
歯車 普通って？
小敷 だから、普通に、台本とかなしで
歯車 アドリブでやんのか！ それはまだ君には(早いと思うぞ)
小敷 だって普通は普通にやるでしょ？ (星に) そうなんでしょ？
星 そうだって。というか、こんな事件に時間かけるのはマジで無駄ですよ。
小敷 そーだよ。罰金でも懲役でも、ちゃちゃっと決めちゃってよ
星 ほら。こいつら反省も更生もしないんですから。社会のゴミですよ。
歯車 おいおい。君、問題発言だぞ。
星 お言葉ですが、事件に変な設定を付け足してる警部殿の方が大問題ですよ。
歯車 君が書いた調書だって十分変な設定じゃないか！
星 どこがですか！
歯車 なんだこの「恋愛感情のもつれ」って
星 なんだって、本人がそう言ってるんだからそれが事実でしょう。
歯車 事实は、この女性が男性を殴ったということだけだろう
星 だから！ その当事者のこいつが「恋愛感情のもつれ」で殴ったっつってんだから
歯車 ありきたりなんだよ。
星 犯罪なんてそんなもんでしょ
歯車 あーもういい。やればわかるから！ (小敷に) じゃ、アドリブでやんのね？
小敷 (うなづく)
歯車 じゃ、いくぞ。

(照明C)

歯車 (調書を見ながら) 被告人は、被害者であるホストの男性から、「身体を売ってでも金をつくつてこい」と言われ腹を立て、近くにあった看板で被害者の頭、左側頭部を殴った。間違いないですか？
小敷 間違いないです
歯車 なぜそこまで憤りを感じたのですか？
小敷 私は頑張ってお店に通ってたのに、そんなことを言われたからです。
歯車 そんなこととは？
小敷 身体売れて。
歯車 なぜその言葉に強い憤りを感じたのですか？
小敷 ……普通むかつくだろ
歯車 普通とはなんですか？
小敷 普通は普通だよ
歯車 はい止めます。(照明B) はい全然アドリブだめじゃん

小敷 お前、めんどくさいんだよ

歯車 君が質問に答えてないからだ。やっぱり宇宙人編やろう

小敷 それは絶対に嫌！

歯車 じゃあ君(星)、セリフ考えてやれ

星 ええ？

歯車 「恋愛編」は君のホンだろ。責任とれ。

星 いやですよ！ 忙しいんですから。

歯車 そうか。じゃあ他の事件からはずしてもらってこよう。(出ていこうとする)

星 (止めて)わかりましたよ！ おい(瀬田をPCからどかし、文を打ち始める)

歯車 なんでアドリブできないのかわかるか？

小敷 知らねえよ

歯車 役が入ってないからだよ。

星、適当なタイミングで文を印刷し、取りに行く

歯車 このキャラクターはどんな人物なのかを理解していない。だから、酷いことを言われた時の感情が生まれてこない。感情が生まれないから、アドリブで言葉が出てこない。

小敷 いや、これ私の話なんだけど

歯車 自分のことすら理解できないのが人間だ！ 思い上がるな！

星 なになになに大丈夫ですか

星、印刷物をもって戻ってきて、歯車にそれを渡す。歯車それを一瞥する

小敷 (星に)ねえこの人(歯車)やだ……

星 俺も

歯車 ん、まあこんなもんか(小敷に紙を一枚わたす)。よし、やってみよう。

小敷 ちょっと待って……

星、出て行こうとするが、歯車に止められて諦める

歯車 いくぞ。(照明C)なぜそこまで憤りを感じたのですか？

小敷 え、と。私は、太陽くんのが好きでお店に通っていたのに、彼は私のことを金づるとしか見ていないと思ったからです。

歯車 (照明B)……はい面白くない！

星 ちゃんと回答してるじゃないですか！

歯車 理屈っぽいんだよ

小敷 でもこれの方がマシ！

星 ほら！

歯車 あ、そう？ じゃあ恋愛編やる？ (瀬田がタイプしているのに気づき) なにしてんの？
瀬田 あっ！ なんでもないです！

歯車 あーあーあ (PCをのぞきこんで)、勝手にセリフいじって
すいません！ 消します

歯車 待て待て。わるくないね。この方が自然だ

瀬田 ホントですか！

歯車 じゃあちょっと読んでみて

瀬田 え！？ 私がですか？

歯車 そうだ。役作りの話は聞いてたな？

瀬田 はい

歯車 よし。やってみよう。

瀬田 ちょっと待ってください！ (整える) ……はいOKです。

(照明C)

歯車 なぜそこまで憤りを感じたのですか？

瀬田 私は、太陽くんのが本当に好きだったんです。でも彼にとっては、私はただの金づるだったんだ、って思ってた。

(照明B)

歯車 ……いいじゃないか

瀬田 ありがとうございます！

歯車 裁判、君が被告人やるか？

瀬田 それは、やめときます。

歯車 (小敷に) これが「役が入る」ってことだ。おい (瀬田に) どうやったか教えてやれ。

瀬田 え、あの、ミッキーに言われたら悲しいな、って

星 ミッキー？

瀬田 私、好きなんですミッキー！ だから、せっかくミッキーに会いに行ったのに、もっと金持
って来いって言われたら、悲しいな、って。

歯車 君、才能あるよ。名前は？

瀬田 瀬田・ジョーンズ 雅美と申します！

歯車 おぼえておこう。(星と小敷に) な？ 面白かっただろう？

星 面白かったですけど！

小敷 じゃあそれ読むよもう

歯車 読めばいいってもんじゃないんだよ！ 面白かったのは、瀬田くんが、ミッキーへの愛という
真実をそこに付け加えたからだ。逆にどうだ。君(小敷)はホストを好きだったはずなのに、
面白くない。そこに真実がないからだ。本当に恋愛感情があったのか？

第三場

星 えー？ そこ疑います？

小敷 好きでもない奴の所に通わねえよ。

歯車 せいぜい月一だろ？。

星 は？ おまえ（小敷）いつも被害者を指名してるって

歯車 月一でも週5でもホストと客だ。君（星）、先入観で調書書いたな。

星 だってこんな（よくある事件）……

歯車 ホストのセリフも違和感があるんだよ。殴る前のとこ。ここも直したいな。

小敷 言ったよ。たぶん。そんな感じのことを！

星 なんだよ今さらそんなあやふやな

歯車 じゃあ君（星）、ホストやって。

星 はあ！？

歯車 お前しかいないだろう。疑問残したまま送検するのか？

星 それは……

歯車 瀬田くん、君がじゃあ加害者役で

瀬田 えっ！ いいんですか！？

歯車 上手い奴がやったほうが見えてくるものも多い。いくぞ。はい！

(照明D)

星 ……え、ここ（調書）読めばいいですか？ **(照明B)**

歯車 そうだよ！ あ、じゃあ瀬田くんアドリブで前のセリフあげて。はい！

瀬田 **(照明D)** ごめんなさい！ お金ないの！ 売掛払うの、もうちょっと待って！

星 か、身体売ってでも金つくってこい

瀬田 ……ひどい！（近くにあったゴミ箱で星の頭をなぐる）

星 痛って！

歯車 はい止めよう！ **(照明B)** 瀬田くん！

瀬田 はい！（褒められると思ってる）

歯車 ほんとに殴っちゃダメだよ

瀬田 あ、すいません

歯車 どうだ君（星）、違和感、気づいただろ。

星 ……違いますね、これは。

歯車 そうなんだよ。説明的すぎる。これじゃ面白くない

星 そうじゃなくて、「身体売れ」なんてハッキリ言うのがおかしいっす。強要罪になります。

小敷 あいつそんな頭ないから

星 店側が指導すんだよ。しかも現場は店の裏でしょ？ うっかり口にするような場所じゃないっす。

瀬田 私も……すぐ殴りにくかったです。そのセリフ聞いても、パツと怒れなかったというか

歯車 君は本当にスジがいいな

星 っていうか、事実関係が怪しいならそう言ってくださいよ！ 最初っから！

歯車 事実かどうかは重要じゃないんだよ。

星 重要ですよ！ おいお前（小敷）ほんとのこと言えよ

小敷 なんだよもう！ 覚えてねえよいちいち！
星 そんなわけねえだろこの野郎！
歯車 まあまあ無理強いすることはない。我々が考えればいいじゃないか。
星 ダメですよ捏造は！
歯車 記憶なんでものはすべて捏造だ。証言だって誰かの物語に「当事者」という権威性を与えただけのものに過ぎない。
星 はあ？
歯車 我々警察がストーリーを作って、当事者が「それで間違いないです」といえば立派な本人の証言だよ。というか、いつもそうしてるだろう？
星 してないですよ！ 取り調べは録画されてるんですから！
小敷 え！？ 録画！？ ジャングルのやつも！？
星 あ、いや、傷害事件は対象外だけど。
歯車 ま、やってみればなんとかなる。いい芝居には真実が宿るもんだ。瀬田君！
瀬田 はい！
歯車 (紙をわたして) これでやってみよう。君(星)、被害者やって
星 ええ……
歯車 いくぞ。はい！(照明D)
星 えーと……愛しのころ様…、ころ様って誰？(照明B)
瀬田 あ、あの、被疑者です。小敷ころさん。
星 あ、こいつ。
歯車 勝手に芝居を止めるな。いくぞ。はい！(照明D)
星 えー、愛しのころ様、僕のシンデレラ
小敷 おい
星 (小敷を気にしながら) どうか十二時の鐘が鳴っても帰らないで(おくれ)
小敷 おい！！
星 ……(小敷を気にして)
歯車 (続けてと合図)
星 でも……(小敷を気にして)
歯車 はい止めます！(照明B) だから勝手に芝居止めるなって！
星 だって……
歯車 君(小敷)もうるさい！
小敷 なんだよそのバカみたいなセリフ
歯車 またホンに口出すのか！
小敷 だってそんなこと言わねえもん！
歯車 なにに？
小敷 捏造するならせめてリアルに作れよ！
歯車 ド素人が！ 芝居には芝居のリアルってのがあるんだよ！
小敷 知るかよ！ とにかくそんな認めないから

歯車 宇宙人編だ。ある意味、事故だったのが、宇宙人の技術で事件だったということ(にされて)
星 却下です
歯車 それを決めるのは君じゃない！
小敷 却下です
歯車 なんです！
小敷 なんでもくそもあるか
歯車 いやほら、記憶が曖昧なこととも、セリフが不自然なこととも整合性とれるじゃないか！
小敷 却下です
瀬田 はい！
小敷 はい！
瀬田 はい新人
小敷 同行の女性が通報した、という事実と整合性が取れません
歯車 ……一理あるな

第四場

瀬田 (小敷に) そういえば同行の女性は、事件の時はなにしてたんですか？
小敷 なにって……
瀬田 だって殴っちゃうほどの現場ですよ。ただ見てるだけってことはないかなって……
小敷 別に、普通に……一緒に店行っただけなんだけど

間

歯車 ……同行の女性について詳しく
瀬田 えーと、(資料をめくって)、馬場素子、二十三歳、池袋のコンカフェに勤務。自称、アイドル。
小敷 自称じゃねえよ
歯車 コンカフェって？
星 メイド喫茶みたいな奴ですが、そこはほぼキャバクラです。
瀬田 元々はこころさんが勤務するネイルサロンの客です。数か月ですがこころさんの部屋で同居していたこともあり。最初は彼女が被害者のホストを指名していました。
歯車 それで二人でホストクラブに通ってたのか
星 だからもつれたんでしょ
歯車 どういうことだ？
星 ホストの取り合いになります。普通は
歯車 なるほど
星 もう一回、話聞いてみますか
小敷 いやあいつは関係ないから
歯車 ま、一回やってみよう。ホストの取り合いね。

星 や、やるんですか？

歯車 私が同行の女性やるから。いくぞ、はい！(照明D)

瀬田 来たよ！

星 待ってたよ！

歯車 えー、私は待っててくれなかったのー？

小敷 おい

星 え、あの、その

瀬田 そうだよ！ 太陽くんは私を待ってたの！

歯車 えー？ 私でしょー？

小敷 おい！

瀬田 違うよう！ ぷー！

小敷 ふざけてんじゃねえぞ！(照明B)

歯車 ……こんな感じじゃないのか？

小敷 全然ちがう！ っていうかふざけてんだろお前ら。

歯車 ふざけてるわけないだろう

小敷 っていうかあいつは関係ないからマジで

歯車 ふむ。じゃあ、やってみせてくれ

小敷 はあ？

歯車 そもそも君の芝居がつまらんからこういう話になってるんだ。加害者と被害者の二人芝居でいききたいなら、それなりのものを見せてもらわないと。

小敷 だから何度も言ってる通り

歯車 事実なんてどうでもいいから、芝居で納得させてくれ。瀬田くんはちょっと休憩。

瀬田 はい。

歯車 君(星)、思いっきり罵倒してやれ。いつもの取り調べの感じでいいぞ

星 罵倒してませんか

歯車 よーい、はい！(照明D)

星 ……いいから払えよてめえ！ 約束しただろが！ てめえ嘘つきか？ 泥棒か？

小敷 ……

星 女だったら十万くらい簡単に作れんだろ！ 身体でもなんでも売って来いよ！

小敷 ……

小敷、ゴミ箱を手に取り左手で持って星を殴る。星、間一髪で避ける

星 あぶねえ！

歯車 はい止めます！(照明B) うーん、微妙だなあ。(瀬田に) どう思った

瀬田 え、あの。イライラは伝わってきましたが、殴るほどでは、ないかなと

歯車 だよなあ。やっぱ面白くないよなあ。

瀬田 あ、あと、気づいた点が

歯車 なんだ？

瀬田 ころろさん、左手で殴ってました

星 左利きだな

瀬田 被害者のケガは、左側頭部です。

星 あ

瀬田 だから

瀬田、星をうしろ向きに立たせて、左手で側頭部を殴るふりをする

瀬田 こうだったはずですよ

歯車 (星に) 今の流れで、後ろ向ける？

星 ちょっと待ってください (照明D)

星、小声で実際にやってみる

星 ……難しいっす (照明B)

歯車 ……よし、右側頭部を殴られたことにしよう

星 ダメです

歯車 じゃあどうするんだ！

星 知りませんよそんなこと！ おい(小敷に)、実際はどうだったんだ？

小敷 (無視)

歯車 なんかないか。後ろ向く方法。

瀬田 あの、いいですか？

歯車 ん？

瀬田 そもそも「身体売ってこい」みたいな話はなくて、最初から殴るつもりだった、的な。

歯車 つまり？

瀬田 同行の女性が、(芝居に入って) 来たよ

星 ま、待ってたよ！

瀬田 で、二人が店に入ろうとする

星 店に入る(瀬田と二人で店に入ろうと後ろを向く)

歯車 で、こうか(ゴミ箱を振り下ろす)

瀬田 はい

星 でもこれなら、裏口でやるのは不自然じゃないか？

瀬田 あー

歯車 同行の女性のようす、覚えてるか？

星 いや、普通に……ショックで動揺してましたよ。芝居には見えなかったですけど

瀬田 被害者のホストをすぐく心配していて。理解できないなーって思いました。被害者のせいでかなり借金もしてるのに

歯車 ほう。だいぶ貢いでたのか

瀬田 最近は月に百万近く

歯車 君（小敷）、売掛いくらだったけ？

小敷 十万だよ。書いてあんだろ。

歯車 ……君（星）、同行の女性を罵倒してみてくれないか？

星 え？

歯車 つまり、同行の女性との金銭トラブルだよ。それを、友人である被疑者が守ろうとして殴った。

星 なるほど

歯車 瀬田くん、同行の女性ね。で、君（小敷）は加害者ではいつて。

小敷 は？ やだよ

星 じゃあ、何があったのか説明しろよ

小敷 まじで覚えてないんだって

星 そんなわけねえだろ！

小敷 ほんとに！ わーってなっちゃってたし！

歯車 ま、とにかくやってみよ。ね。終わらないからこれじゃ。

小敷 （渋々立ち上がる）

歯車 よし、いってみよう。はい！（照明D）

星 てめえ売掛払えよ！ 何考えてんだ！

瀬田 （無言で小敷の後ろに逃げ込んでしまう）

星 百万だぞ！ どうすんだよ！

瀬田 （小敷に隠れたまま）払えない！

歯車 はい止めます。（照明B）瀬田くん。段取り。

瀬田 すみません！ でも、怒鳴られたらこうなっちゃいます

歯車 でもほら加害者に背中向けさせないと

瀬田 そうなんですけど。すみません。

歯車 もっかいいってみよう！（照明D）

瀬田 あと！ すいません！（照明B）

歯車 なんだ

瀬田 頑張っって後ろ向かせたとしても、たぶん、警察に通報できません……

歯車 ほう

瀬田 だって、自分を守ってくれた友達ですよ。

歯車 それは、あれだよ。ちゃんと友達に罪を償って欲しいという（気持ちで通報したんだ）

星 （調書を見ながら）通報の第一声、「助けてください」です

歯車 だから事実はどうでもいいんだって！

瀬田 それにしても、守ってくれた友達を通報はできません……

小敷 ……守ってないし。

瀬田 あ！ ホストが守ってくれたとしたら！？

小敷 は？

瀬田 加害者は、ホントは同行の女性を殴ろうとしたんです！ それをホストが身を挺して庇った！ それならすぐ通報するし、「助けてください！」ってなります

小敷 いや待ってよ素子のこと殴ったりしねえし

瀬田 でも、「恋愛感情のもつれ」でしょう？ 十倍近く貢いでるなら、ホストがそっちばかり優しくするのも自然です

歯車 なるほど。嫉妬か。

小敷 嫉妬？

歯車 やってみよう。君（星）、頑張って優しくして。はい！（照明D）

星 えっと……（小敷に）てめえ売掛払えよ！ この泥棒女！

瀬田 そうだぞ！ 太陽くんに迷惑じゃん！

星 それに引き換え、素子は偉いなー。十万でも百万でもちゃんと払うもんない

瀬田 当然でしょ！ 太陽くんのためだもん

歯車、小敷に殴れと合図を送る。小敷、ゴミ箱を持ち上げ、瀬田に殴り掛かる

星 あぶない！（瀬田を庇う。左側頭部にゴミ箱があたり、倒れる）

瀬田 きゃー！（スマホで通報し）警察ですか！？ 助けてください！

歯車 はい止めよう！（照明B） うーん……

瀬田 ……ダメですか？

星 これ、辻褄あうじゃないですか！

瀬田 ホントですか！

星 恋愛感情のもつれで、衝動的な犯行。左側頭部の傷。「助けて」の通報。売春についても明言してないし。

瀬田 やった！ 私もこれなら、被害者が心配になるなって感じたんです！ あとはこころさんが、本気でやってくれば。

小敷 え？ ……じゃあいいよ。これで。

瀬田 ありがとうございます！ じゃ、台本書きますね！

星 あ、終わり？ よーしお疲れさまでした！（出て行こうとして止められる）

歯車 最後まで観ていけて。（小敷に）これなら、できるか？

小敷 なんでもいいよもう

歯車 わかった。じゃあ役作り、しておけよ？

小敷 あ？

歯車 辻褄が合うシナリオができて、気持ちが入ってなきゃ面白くないからな

小敷 ……

瀬田 できました！（PCを小敷の前に置く）

歯車 よし、やってみよう！（照明C）被告人は、同行していた友人を殴ろうとしたところ、被害者の男性が彼女を庇ったため、被害者の左側頭部を殴打してしまった。間違いありません

か？

小敷 ……間違いないです。

歯車 なぜホストクラブの裏口にいたのですか？

小敷 売掛を払ってなくて、店に入れてもらえませんでした

歯車 なぜ、友人を殴ろうとしたのですか？

小敷 えーと……(読む)二人で太陽くんを推していたのに、彼女は勝手にたくさん貢いでました。

あの日も太陽くんは彼女にばかり優しく、彼女の勝ち誇った顔を見た瞬間、カツとなつて殴ってしまいました。

歯車 (照明B) ……なんか違うんだよな。

小敷 そりゃ、だって事実とは違うんだから

歯車 あ、(照明C) 殴ってしまった後、どう感じましたか？

小敷 え？

ムカつくを女を殴るつもりが、大好きな男性に大怪我をさせました。どう感じていますか？

小敷 ……反省してます。

歯車 (照明B) これだ。

小敷 なにが

やっぱり恋愛感情がちゃんと作れてないんだよ。好きな男にうっかり大怪我させたら、反省の前に後悔するだろう

小敷 一緒だろ、反省も後悔も。

第五場

瀬田 あれ？

歯車 どうした？

瀬田 いま、「売掛を払ってなくて、店に入れなかった」って言いませんでした？

小敷 言ったよ

瀬田 それは、実際にあったことですか？

小敷 そうだけど

瀬田 後ろ向けるじゃないですか！

星 え？

瀬田 やればわかります！ セリフください！(照明D)

星 あ、えっと。売掛はらえー。おまえらー。

瀬田 はい！ 払います！ だから中、入ろう！？

瀬田、星を連れて行くこうとする。小敷に背を向ける形になる

瀬田 ね？ ここで

歯車 (後ろから) こうか(殴る)
なるほど……(照明B)
小敷 そうだ。そうだったかも。私、後ろから殴った。
瀬田 ほら！
星 じゃあ、被害者を同行の女性に取られると思って、後ろから殴った、的なの？
瀬田 うーん……どうなんですか？
小敷 どうって……二人でなんか……それでムカついたから
歯車 一回ちゃんとやってみよう。君(星)、本気でやるんだぞ。
星 はあ。
歯車 よーい、はい！(照明D)
星 いいから売掛はらえて！ 払うまで店、入れねえから！
瀬田 払うから！ だから行こう！？
星 よし、えらい。お前(小敷)は？
小敷 え？ 払えない
星 じゃあお前は入れない！ 行こうぜ！(星と瀬田、行こうとする)
小敷 ……(なぐれない)
歯車 はい、止めます。(照明B) どうした？ 殴れないか？
小敷 ……
星 あの、やっぱ不自然かと
歯車 なにが
星 百万ですよ？ 「払います！」で信用しないでしょ。
歯車 たしかに。
小敷 身体売るって。
瀬田 え？
小敷 なんか、そう。素子が風俗行くからって言いだして。じゃあ、ってなって。
歯車 なるほど
小敷 バカだよねー。痛い女すぎるっていうか
歯車 それで？
小敷 ?
歯車 それで、なんで殴ったの？
小敷 それは……ムカついたから
歯車 なにに？
小敷 ……？
歯車 ちょっとそれでやってみよう。
小敷 え、ちょっと待って！
歯車 どうした？
小敷 だって。え。やりたくない。
歯車 やらないとわかんないだろう！

小敷 え、でも

歯車 よーい。はい！(照明D)

星 ……(瀬田とふたり、やっていいのかためらう)

歯車 大丈夫だ！ 小敷ころくん！

小敷 なに！

歯車 大丈夫。勇気を出して。我々は、味方だ。

小敷 ……？

歯車 どんな感情が飛び出してきても、我々は絶対に受け止める。だから、大丈夫だ。

……(照明B)

歯車 ……(照明D)

星 ……だから売掛払うまでは店入れねえから！

瀬田 ……こんど払うから！ だから入れてよ！

星 ……今払えよ！

瀬田 ……今は、ないけど

星 ……は？ 百万だぞ？ もう信用ねえんだよお前は！

瀬田 ……払うから！ お願い！ ころもなんとか言ってみよ！

小敷 ……諦めようよ

瀬田 ……はあ？ いやだ！ 太陽くん他の女といちゃつくじゃん

星 ……当たり前だろホストなんだから！ 嫌なら金払えよ！

小敷 ……払わなくていいよ……

星 ……そんなわけねえだろ！ てめえ(小敷)だって掛けあんだからな！

瀬田 ……払うから！ 来週には、ぜったい。

星 ……は？ どうやって？

瀬田 ………風俗で働く。お店、決めてきた。

星 ……お、そう？ なんてとこ？

小敷 ……ダメだよ。

星 ……てめえは黙ってろよ！

小敷 ……ダメだよ素子、そんなことしないでよ

瀬田 ……いいの！

小敷 ……アイドルどうすんのよ

瀬田 ……もうアイドルなんか辞める！

小敷 ……だめだよ。夢なんでしょ？

瀬田 ……どうでもいい！ 太陽くんの方が大事！

小敷 ……え……

瀬田 ……太陽くんが好きなの！ 太陽くんさえ居ればいいの！ こんなに大好きなのに、なんでわか

……つてくれないの！？

小敷 ……

星 ……素子 ……じゃあ、ホントに風俗行ってくれんの？

瀬田 うん。頑張って働く
星 ありがとう俺のために！ じゃあ今日は掛けでいいから、楽しもうぜ！
瀬田 うん！

星、瀬田、小敷に背を向けて行こうとする。小敷、ごみ箱で星の頭を殴る

星 痛え！！

瀬田 えー！ 何！ 何してんの！？

小敷 ごめん、あの、だって

瀬田 近寄らないで！！！！

小敷 ！

瀬田 (スマホを取り出して) あの、助けてください！ 殴られて、血がすごくて

歯車 はい止めます！ (照明B)

小敷 ……

歯車 ……やればできるじゃないか！

小敷 ……

歯車 いい芝居だった！ すばらしい！

小敷 ……

歯車 よし。本番もこれでいこう。これならアドリブでも行けるかもな！ うん、面白かった！ よ

し、次行ってみよう！（はける） あ、瀬田くん！ 一応設定整理しといて！

瀬田 あ、はい！

第六場

取り調べの体制になる

瀬田 ……じゃあ、もうちょっとだけ（お時間いただきますね）

小敷 ……殴ったんだね。私が。ほんとに。

瀬田 ……そうですね

小敷 ……太陽くん、痛かったよね

瀬田 ……

小敷 ……悪いこと、したな

瀬田 ……正直言うと、死んじゃえばよかったのになって思っています

小敷 おい警察！ 殺人犯になっちゃうじゃん

瀬田 殺意が無ければ傷害致死です。

小敷 あったよ。ぶっ殺してやろうと思った。

瀬田 (殺人未遂になるから) 聞かなかったことにしますね

小敷 ……素子、怒ってた？

瀬田 ……泣いてました

小敷 そっか……

瀬田 けど、いつか、わかってくれると思います。

小敷 ……

瀬田 (星に) あの、いつまで倒れてるんですか？

星 (起きて) いや……お前(瀬田に) あんまり同情しすぎるなよ

小敷 ……

星 小敷ころろ！ ……(いい加減な取り調べをして) 悪かったな(はける)

小敷 ……これ、動機はなんて書くの？

瀬田 うーん「友人を守ろうとしての犯行」でしょうか。

小敷 ……ちがうよ

瀬田 ？

小敷 (耳打ちで。客席に聞こえなくてOK) 私はきつと素子が好きだったんだ(耳打ちここまで)。

瀬田 だから……嫉妬？

小敷 そっちで書いたほうがいいですか？

瀬田 その方が、面白いかな

小敷 いえ。どっちにしる結局、ド定番な動機です。

おしまい